

二塚、安原、金石町、大野町 校下(地区)

ともに考えよう まちづくりミーティング

平成28年10月29日(土) 18時30分から
於 金沢市立金沢海みらい図書館 1階 交流ホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

～ 開会前、市政紹介動画の放映 ～

金沢市公式プロモーションムービー
「カラーセオリーフォーカナザワ」 (平成27年11月)
金沢を味わう、映像で (平成27年4月)

今回放映しました市政
紹介動画は、金沢市のHP
“いいね金沢”
でご覧になれます。

- (1) 市長あいさつ
- (2) 地域代表あいさつ
- (3) 進行の説明等
- (4) 地域課題の発表
- (5) 地域課題に対する市の方針等の説明
- (6) 地域課題について討議
- (7) 共通課題について討議
- (8) 市長まとめ など

※恐れ入りますが、アンケートにご協力ください。

お帰りの際に、用紙をアンケート箱にお入れください。

金沢市広報広聴課 TEL 220-2348 FAX 220-2030

平成28年度第4回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

提出課題一覧表 1

町会連合会名	二塚地区町会連合会
地域課題	防災拠点施設の設置について
課題の内容	<p>近年、全国各地で地震や水害といった大規模災害が多く発生していることから、防災に対する市民の関心はますます高まっています。</p> <p>こうしたなか、本地区は犀川、伏見川、十人川および安原川に面しており、これまでも、これらの川では水害が発生している状況であります。</p> <p>さらには、いざ地震が発生した際に津波が発生すれば、これらの川を逆流して、本地区に甚大な被害をもたらす危険性もあります。</p> <p>また、本地区は、金沢外環状道路の海側幹線を有した交通の要所で、金沢港からの物資の輸送など西部地区の中心的位置にあり、いざ大地震が発生し、犀川に架かる橋や北陸自動車道が崩落すると、孤立化し、陸の孤島と化すことも懸念されます。</p> <p>こうしたことから、住民が安心して暮らせるよう、何らかの手立てが必要だと感じています。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地理的条件、人口密度、交通状況など地域特性に見合った防災施設の設置のあり方について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>本地区では毎年、防災訓練を実施し、住民の防災意識の高揚に努めていますが、防災施設がないため、大規模災害への対応に苦慮しています。</p> <p>①本地区に備蓄倉庫機能を有した防災拠点施設を設置してもらえないか。</p>

提出課題についての市の方針等 1 - (1)

地域課題	防災拠点施設の設置について	
提案・提言等	①当地区に備蓄倉庫機能を有した防災拠点施設を設置してもらえないか。	
市の方針等	<p>本市では、災害時における市内の被災地への支援拠点として、また、他の自治体からの緊急支援隊や支援物資の基地としての機能（広場、備蓄倉庫、屋内施設、ヘリポート、駐車場等）を備えた防災拠点広場を、市内の概ね中央、東、西、南、北の各地区において計画的に整備することを金沢市地域防災計画に定めています。</p> <p>既に、中央地区（大和町広場）、東地区（大桑防災拠点広場）、西地区（安原スポーツ広場）、南地区（金沢南総合運動公園）での整備を完了しており、今後、北地区（城北市民運動公園）にて備蓄倉庫を整備する予定です。</p> <p>既に、西地区については、防災拠点広場が整備されていることから、二塚地区での防災拠点広場の整備計画はありませんが、今後も備蓄品の充実等に努めてまいりますので、ご理解、ご協力をいただけますようお願いいたします。</p> <p>なお、自主防災組織が防災活動を行うために必要な資機材（倉庫、備蓄品等）の整備に要する費用に対して、補助金を交付する制度もありますので、その活用についてご検討いただき、危機管理課にご相談ください。</p>	
担当課	危機管理課	電話 220-2366

提出課題一覧表 2

町会連合会名	安原地区町会連合会
地域課題	安原地区の特性を生かしたまちづくりについて
課題の内容	<p>安原地区は、金沢外環状道路（海側幹線）や北陸自動車道の白山インターチェンジと金沢西インターチェンジに隣接するとともに、クルーズ船の発着で賑わう金沢港やのと里山海道へのアクセスが良い地域であります。</p> <p>また、地元には加賀野菜をはじめ、スイカやメロン全国ブランドとなったルビーロマン等の一大生産地があり、金沢市を代表する農業地帯であります。</p> <p>近年、北陸新幹線の金沢開業や大型豪華客船の金沢港寄港により、多くの観光客が金沢を訪れています。</p> <p>これを好機と捉え、地元の立地条件や農産物等の特性を生かしたまちづくりが重要であると考えています。</p> <p>交通の要衝である安原地区で、加賀野菜など金沢の魅力の一つである「食」を発信することは、「本物の金沢」を知っていただくとともに、リピーターの増加にも寄与すると確信しております。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用地を活用した加賀野菜等の販売について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>①現在利用されていない、金沢外環状道路（海側幹線）の本線部道路予定区域用地を活用できないか。</p>

提出課題についての市の方針等 2 - (1)

地域課題	安原地区の特性を生かしたまちづくりについて	
提案・提言等	①現在利用されていない、金沢外環状道路（海側幹線）の本線部道路予定区域用地を活用できないか。	
市の方針等	<p>安原地区はご指摘のとおり、外環状道路海側幹線や北陸自動車道のインターチェンジに隣接した交通の要衝であると思っています。</p> <p>また、この地域の特産物である加賀太きゅうりや打木赤皮甘栗かぼちゃ等の加賀野菜とすいかやだいこん等の金沢そだちを生かしたまちづくりは大切な視点であると考えています。</p> <p>ご提案のあった未利用地を活用した加賀野菜等の販売については、販売システムの確立や、運営主体となる民間事業者の確保など、解決すべき課題が多くあります。</p> <p>今後、これらの課題について研究して参りたいと考えています。</p>	
担当課	企画調整課 農業振興課	電話 220-2031 電話 220-2213

提出課題一覧表 3

町会連合会名	安原地区町会連合会
地域課題	緑住宅団地の再整備計画を生かしたまちづくりについて
課題の内容	<p>緑団地は、1, 358戸の金沢市内最大の市営住宅団地で、建設当初は、金沢で就業する若い世代を中心とした世帯構成で、活気のある地域活動が行われていましたが、近年、低層棟において建て替えが進められることになったことから、空き家が増加している状況であり、入居者については、高齢者のいる世帯が46.8%、高齢単身世帯が23.0%を占めるなど高齢者世帯が増加しており、地域活動に支障をきたす状況となっています。</p> <p>こうした状況のため、低層棟の一部で町会コミュニティが衰退する危機はもちろん、緑団地全体の自治機能が低下する深刻な状況となっていますので、今回の再整備計画を絶好の好機と捉え、その脱却を図りたいと考えています。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会情勢の変化や多様化するニーズに対応し、将来展望を見据えた全体建て替え計画について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>①市関係部局と緑団地・安原地区関係者で、次のような点などについて、忌憚のない意見や知恵を話し合える意見交換会等を開催してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世帯に好まれる活気ある低層住宅棟となるような整備計画にできないか。 ・ 周辺地域を含めたコミュニティ形成や高齢者に対する生活支援、子育て対策など住宅以外の用途との複合的整備ができないか。

提出課題についての市の方針等 3 - (1)

地域課題	緑住宅団地の再整備計画を生かしたまちづくりについて	
提案・提言等	<p>①市関係部局と緑団地・安原地区関係者で、次のような点などについて、忌憚のない意見や知恵を話し合える意見交換会等を開催してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世帯に好まれる活気ある低層住宅棟となるような整備計画にできないか。 ・周辺地域を含めたコミュニティ形成や高齢者に対する生活支援、子育て対策など住宅以外の用途との複合的整備ができないか。 	
市の方針等	<p>緑住宅再整備計画の策定にあたっては、入居者や地域の方々のご意見をお聞きし、その内容を可能な限り計画に反映させるつもりであり、今後も計画づくりに合わせて意見交換の場を設けていきたいと考えています。</p> <p>9月26日の意見交換会で話題となった孤立死の防止、若い世帯の入居促進、高齢者と若い世代が支え合うコミュニティの形成などの課題については、今後、入居者や地域の方々とともに考えていかなければならないことと思っておりますが、市としても、再整備計画のなかでコミュニティ醸成のための工夫ができないか検討していきます。</p> <p>なお、公営住宅として、法制度面、予算面など一定の制約があることについては、ご理解ください。</p>	
担当課	市営住宅課	電話 220-2333

提出課題一覧表 4

町会連合会名	金石町校下町会連合会
地域課題	地域の高齢化による交通手段の確保や空き家対策、コミュニティの維持について
課題の内容	<p>当地区では、少子高齢化の進展により、一人暮らし世帯が年々増加傾向にあるほか、世帯数の減少と空き家の増加も進んでいることから、防犯上、危惧される町会も見え始めています。</p> <p>また、生活用品などを購入できる商店も限られており、高齢者等の弱者にとって、スーパーへの交通手段の確保は、喫緊の課題となっています。</p> <p>金沢市では、ふらっとバスや町家の再生、定住促進奨励金など、まちなかへの支援は充実していますが、郊外部の魅力や歴史文化を際立たせるような支援は限られているように思います。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郊外部で高齢者等の弱者が暮らしやすい生活環境の維持、保全への課題と支援策について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>町会をはじめ、婦人会、社会福祉協議会、公民館、児童館、益壮会、青年団、壮年会など、多様な地縁団体が地域でのコミュニティを維持確保すべく協力し頑張っていますが、それだけでは限界があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高齢社会に対応するため、新規コミュニティバスの新設は必要と考えているが、市で運行業者の斡旋、仲介などアドバイザー制度のような支援を行うことはできないか。 ②一人暮らしの増加、高齢化による町会等の固有のコミュニティ維持保全について、市としてどのように対応していくのか。 ③空き家対策に国も法律を制定して取り組みを始めているが、郊外部の住民にとって、実効性ある支援策となっているのか。

提出課題についての市の方針等 4 - (1)

地域課題	地域の高齢化による交通手段の確保や空き家対策、コミュニティの維持について	
提案・提言等	①高齢社会に対応するため、新規コミュニティバスの新設は必要と考えているが、市で運行業者の斡旋、仲介などのアドバイザー制度のような支援を行うことができないか。	
市の方針等	<p>昨年度策定した「第2次金沢交通戦略」では、交通事業者による公共交通の維持が難しい地域は、住民が主体となるバス等の運行を確保するための支援や導入促進を図っていくこととしています。</p> <p>具体的には、平成26年度から自主運行支援制度を設立し、運行経費に対する助成を行っているほか、今年度からは、導入促進に向け、アドバイザーの派遣や運行実験の費用の一部を助成するなど、支援を拡充したところです。</p> <p>アドバイザーの派遣については、運行業者の斡旋ではなく、地元と運行主体との協議の調整や運行計画策定等の具体の技術的支援を行うものです。</p> <p>地域コミュニティバスの導入にあたっては、住民の熱意が大変重要であると考えており、市としても、個別に協議を行い、導入に向けサポートをさせていただきたいと考えています。</p>	
担当課	交通政策課	電話 220-2038

提出課題についての市の方針等 4 - (2)

地域課題	地域の高齢化による交通手段の確保や空き家対策、コミュニティの維持について	
提案・提言等	②一人暮らしの増加、高齢化による町会等の固有のコミュニティ維持保全について、市としてどのように対応していくのか。	
市の方針等	<p>町会等のコミュニティは、住民の皆さんが自ら住み良い環境をつくり、また災害から互いの命を守るための大切な存在であります。その絆づくりを支援していくことが市の役割と考えています。これまでも集会所建物や掲示板等の活動用具の整備補助、また、絆づくり活動の補助や人材育成等の支援を行っているところですが、今後も金沢市町会連合会等との連携を密にしながら、市の各部局でも連携して社会情勢や地域課題に応じた支援のあり方を考え、施策として取り組んで参ります。</p> <p>また、元気な高齢者によるまちづくり活動や地域コミュニティへの参加ができる仕組みづくりにも取り組んで参ります。</p> <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション等の集合住宅の町会加入促進や町会活動活性化のための補助制度の拡充によるコミュニティの活性化 ・地域と団体の垣根を越えた交流による新たな絆づくりをすすめる「コミュニティの絆づくり支援事業」によるコミュニティの活性化 ・地域における課題の解決や協働によるまちづくりを促進する人材として期待されるコミュニティ・コーディネーターの育成 ・幅広い世代への情報発信をしていくため、金沢コミュニティ情報ネット金沢 e 広見ブログシステムの活用など、地域コミュニティのICT化の推進 など 	
担当課	市民協働推進課	電話 220-2026

提出課題についての市の方針等 4 - (3)

地域課題	地域の高齢化による交通手段の確保や空き家対策、コミュニティの維持について	
提案・提言等	③空き家対策に国も法律を制定して取り組みを始めているが、郊外部の住民にとって、実効性のある支援策となっているのか。	
市の方針等	<p>空き家対策は、全市域を対象として実施しており、管理不全な空き家に対する指導、空き家除却費の補助制度などについては、郊外部においても適用されます。</p> <p>また、空き家の活用促進の面では、かなざわ空き家活用バンク（空き家バンク）の対象地域を郊外部にも拡大するとともに、郊外部のバンク掲載物件を購入した移住者に対する内部改修補助制度を新たに設けています。</p> <p>なお、本市では、昨年12月議会で「金沢市空き家等の適切な管理及び活用の推進に関する条例」を制定するとともに、本年3月には、今後5年間の本市の空き家対策の方向性を示した「金沢市空き家等管理・活用計画」を策定しました。この条例と計画に基づき、空き家の適正管理だけでなく、活用にも重点を置いた空き家対策を進めていくため、4月から住宅政策課に「空き家等総合相談窓口」を設けて対応しています。</p> <p>さらに、町会等と空き家の所有者と市が、空き家や空き家を解体した跡地を集会施設やポケットパーク等として活用することについて条例に基づく協定を締結した場合に、町会等が行う整備工事費の一部を補助する「地域連携空き家等活用事業」についても、市内の全ての町会を対象としています。</p>	
担当課	住宅政策課	電話 220-2136

提出課題一覧表 5

町会連合会名	大野町町会連合会
地域課題	金沢港を中心とした大野町のにぎわい創造と活性化について
課題の内容	<p>都心軸を、中心市街地である金沢駅の東側のみならず 同駅から金沢港にかけての区間においても形成することは、石川県などが中心となって進める金沢西部副都心整備計画でも示されていることですが、金沢市にとっても、北陸新幹線延伸も見据えながら、世界都市金沢を目指す上での都市構造構築戦略には大切な視点と捉えられています。</p> <p>金沢港はその都市構造の中に位置付けられており、近年積極的に進められてきた港湾施設整備を更に産業振興に生かすことと、にぎわい空間を形成することの両面から拠点化が図られようとしています。</p> <p>また、港町として繁栄した金石・大野地区には、旧回船問屋の建物や醤油蔵など、歴史のある建物が多く残り、風情ある街並みが形成されていますが、臨海地区を城下町の景観に含めて一体化を図ることは、城下町としてブランド化された金沢市の特色であると言えます。</p> <p>しかし、金沢市として、未だこれらの具現化に向けた具体的な計画は示されていないのが現状です。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に誇る金沢の食文化「発酵食品」を掲げたまちづくり [金沢世界都市構想における都心軸の先＝大野町の活性化]
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>こまちなみを利用したイベント等の開催や、住民が積極的に関わる町会活動、公民館活動、大野日吉神社の祭礼等のコミュニティ活動に取り組んでいるほか、改装された醤油蔵や町家を再利用した地元資本の商店、ギャラリー、アトリエ等の魅力あるスポットや、味噌、醤油等の発酵食品を目玉にした産業観光等の体験型施設が増え、活性化の気運は盛り上がっていますが、しっかりとしたビジョンが示されていません。</p> <p>①湊町が歴史的に情報や人や物資の城下町への入口だったことを再確認して、町衆がつくる食文化（発酵食品）を楽しみ、オールドタウンの風情を感じられる地域として、湊町全体のトータルデザインを行政として考えてほしい。</p> <p>②世界都市金沢としての発展の方向と、オールドタウンの魅力アップのための施策の方向がしっかり合って、相互にフィードバックしながら発展していけるような計画を早く作り上げて、それに沿った再開発を官民挙げて進めていけるように音頭を取ってほしい。</p>

提出課題についての市の方針等 5 - (1)

地域課題	金沢港を中心とした大野町のにぎわい創造と活性化について	
提案・提言等	<p>①湊町が歴史的に情報や人や物資の城下町への入口だったことを再確認して、町衆がつくる食文化（発酵食品）を楽しみ、オールドタウンの風情を感じられる地域として、湊町全体のトータルデザインを行政として考えてほしい。</p> <p>②世界都市金沢としての発展の方向と、オールドタウンの魅力アップのための施策の方向がしっかり合って、相互にフィードバックしながら発展していけるような計画を早く作り上げて、それに沿った再開発を官民挙げて進めていけるように音頭を取ってほしい。</p>	
市の方針等		
	<p>金沢港周辺の土地利用については、港湾関連の周辺土地利用を含め、港湾管理者の県が定める港湾計画に基づき利用方策が位置づけられ、金沢市都市計画マスタープランにおいても、歴史的まちなみの保全を前提とした居住基盤の整備など、まちづくりの方針が示されているところです。</p> <p>大野町地区については、町家・醤油蔵などの歴史的建造物が数多く分布し、こまちなみ保存区域に代表される歴史的な港町としての風情が色濃く残っています。</p> <p>このため、平成26年度には、旧城下町区域に加え金石・大野町区域を文化的景観区域に位置づけているところであり、今後も地域の皆さんと協働で、港町としての街並み形成の推進に取り組んで参ります。</p> <p>また、これまでに、大野地区から提案のありました、醤油工場の倉庫を活用したコミュニティカフェの設置や倉庫への出店支援などを行っており、発酵食品を活用したまちづくりについても、地域の皆さんと意見交換しながら検討して参ります。</p>	
担当課	企画調整課 歴史都市推進課 商業振興課 ものづくり産業支援課	電話 220-2031 電話 220-2208 電話 220-2193 電話 220-2205

提出課題一覧表 6

町会連合会名	二塚地区町会連合会
共通課題	防災施設の充実について
意見、質問の内容	<p>いざ水害や津波がこの地域で発生した際、近くに高台などの避難場所がないため、とても不安に感じています。</p> <p>そこで、石川県農業会館、石川県済生会金沢病院、福島印刷(株)、上村電建(株)などの高い建物に避難できたらいいと考えています。</p> <p>その実現に向けて、市の力添えをお願いしたいと考えていますが、いかがですか。</p>

提出課題についての市の方針等 6 - (1)

<p>共通課題</p>	<p>防災施設の充実について</p>	
<p>意見・質問等</p>	<p>いざ水害や津波がこの地域で発生した際、近くに高台などの避難場所がないため、地域の高い建物に避難できたらいいと考えています。 その実現に向けて、市の力添えをお願いしたいと考えていますが、いかがですか。</p>	
<p>市の方針等</p>	<p>金沢市内の他の校下・地区においても、市が指定する避難場所とは別に、自主防災組織が独自に地域の事業所との間で協定を締結し、避難場所を確保されている例があります。</p> <p>それぞれの事業所において、事業や施設管理などの都合があり、全ての施設で協力していただけるとは限りませんが、危機管理課が仲介を行うことは可能ですので、具体的な施設があればご相談ください。</p> <p>※ 田上校下：シェア金沢、シオタニ株式会社 中央小学校校下4地区（長土堀、長町、芳斉、松ヶ枝）：聖霊総合病院</p>	
<p>担当課</p>	<p>危機管理課</p>	<p>電話 220-2366</p>

提出課題一覧表 7

町会連合会名	金石町校下町会連合会
共通課題	防災施設の充実について
意見、質問の内容	<p>去る8月31日に金石本町で発生した火災は、いまだ記憶に新しいところです。</p> <p>ひとたび、こうした大火災が発生した場合においては、近隣住民がお互い協力し、速やかに避難誘導するなど、住民同士の共助が大切であると改めて実感したところであります。</p> <p>そのためには、まずは地域コミュニティの強化を図ることが必要であると考えていますが、一方で共同住宅入居者や、転入者の方々に、町会等コミュニティに関心が薄い方がいらっしゃる事も事実かと思っております。そのような事を踏まえ、いい方策やアドバイスがあれば、ご教示願います。</p>

提出課題についての市の方針等 7 - (1)

<p>共通課題</p>	<p>防災施設の充実について</p>
<p>意見・質問等</p>	<p>大火災が発生した場合には、住民同士の共助が大切だと実感したところですが、そのためには、まずは地域コミュニティの強化が必要であり、町会等コミュニティへの関心が薄い方がいらっしゃる事も踏まえ、いい方策やアドバイスがあれば、ご教示願います。</p>
<p>市の方針等</p>	<p>本市では、市民防災訓練や水防訓練、年間100回を超える「防災出前講座」の開催に取り組むとともに、各種ハザードマップの配布などにより、市民の防災意識の向上と自助・共助の醸成に努めてきたところです。</p> <p>地域コミュニティの強化についてのご質問ですが、防災を通じて地域コミュニティの強化を図るには、まずは、自主防災組織はもとより、コミュニティ防災士や婦人防火クラブなど各種団体が連携して、住民の方が参加しやすい訓練や研修会の開催などを通じてより多くの住民の方に興味を持っていただき、災害に対する危機感を共有するとともに、例えば、地域と小中学校がタイアップし、児童・生徒と保護者が参加する防災訓練を実施するなど、顔の見える関係づくりを深めていくことが効果的ではないかと考えます。</p>
<p>担当課</p>	<p>危機管理課 電話 220-2366</p>

【参考資料】

提出課題一覧表 5 (原案)

町会連合会名	大野町町会連合会
地域課題	金沢港を中心とした大野町のにぎわい創造や活性化のためのマスタープランづくり。
課題の内容	<p>都心軸を、中心市街地である金沢駅の東側のみならず 同駅から金沢港にかけての区間においても形成することは、石川県などが中心となって進める金沢西部副都心整備計画でも示されていることであるが、金沢市にとっても、北陸新幹線延伸も見据えながら、世界都市＝金沢を目指す上での都市構造構築戦略には大切な視点ととらえられている。</p> <p>金沢港はその都市構造の中に位置付けられており、近年積極的に進められてきた港湾施設整備を更に産業振興にいかすことと、にぎわい空間を形成することの両面から拠点化が図られようとしている。</p> <p>が、しかし、金沢市として、未だ具体的なマスタープランは示されていないのが現状である。</p> <p>港町として繁栄した金石・大野地区には、旧回船問屋の建物や醤油蔵など、歴史のある建物が多く残り、風情ある街並みが形成されているが、臨海地区を城下町の景観に含めて一体化を図ることは、城下町としてブランド化された金沢市の特色と言えるであろう。</p> <p>世界に誇る金沢の食文化「発酵食品」を揚げたまちづくり [金沢世界都市構想における都心軸の先＝大野町の活性化]</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>世界都市金沢として2度目3度目の来訪者が大野の街中をそぞろ歩きして楽しめる親水空間としての港まちづくりができれば、金沢市にとっても魅力アップの素晴らしい財産に成ると思う。</p> <p>特に、歴史的に湊町が、情報や人や物資の城下町への入口だったことを再確認して、金沢市の歴史的風景は、城下町だけではなく、町衆がつくる食文化（発酵食品）を楽しめるオールドタウン（1280年の歴史有り）の風情を楽しめる地域として湊町全体のトータルデザインを行政として考えて発表して欲しい。</p> <p>つまり、世界都市金沢としての発展の方向と、オールドタウンの魅力アップのための施策の方向がしっかり合って、相互にフィードバックしながら発展していけるようなマスタープランを早くに作り上げて、このプランに沿った再開発を官民挙げて進めていけるように音頭を取って欲しい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<ul style="list-style-type: none"> ・こまちなみ空間の保存や修復 ・こまちなみを利用したイベント等の開催 ・次代の子供たちも含めて、住民が積極的に関わる町会&公民館活動&大野日吉神社の祭礼等のコミュニティ活動 ・改装された醤油蔵や、町家を再利用した地元資本の商店が少しずつ増えている。 ・上記の改装された倉庫や町家を利用した、ギャラリーや美術アーティストのアトリエ等、魅力あるスポットが町内に点在し、町外からも多くの観光客が訪れるようになっている。 ・からくり記念館等、新幹線開業後2年目も更に来場者数は増加している。 ・味噌&醤油等の発酵食品を目玉にした産業観光等の体験型施設が増えている。 <p>【今後取り組まねばならないこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能な蔵や倉庫や町家がどこにあるか、持ち主は誰か把握する。 ・コミュニティサービスが出来る住民、コミュニティに貢献できる人材を育成する。 ・産業観光等の体験型施設を民間で増やしていく。